

2021年3月14日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**

第63巻第49号(通算3226号)

教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:15-10:30 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう
週報

教会標語

神様が創られたすべての命を
大切に^{たいせつ}にする^{きょうかい}教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

主任担任教師・牛田 匡 牧師
担任教師・水谷 憲 牧師
隠退教師・小林 達夫 牧師

神の求めるいけにえは砕かれた霊。

神よ、砕かれ悔いる心をあなたは悔りません。(詩編 51:19)

レント(受難節) 第4主日礼拝

(河内地区有志教会 講壇交換礼拝)

《**新型コロナウイルスの感染防止に留意しながら礼拝を行います。**インターネット中継をしておりますので、ご自宅でも共に礼拝をして頂けます》

前奏 黙禱

招きの詞 ダニエル書

7章 27節

賛美歌 21-305番「イエスの担った十字架は」(1-4節) (©JASRAC)

消灯の詞

聖書 マタイによる福音書

17章 1-9節

お祈り

賛美歌 21-391番「キリストよ、救いの神」(1-3節) (©JASRAC)

メッセージ「起きなさい、恐れるな」 武久盾牧師(住道一粒教会)

賛美歌 21-312番「紅海を渡り」(1, 2, 5節) (©教団讚美歌改訂委員会)

主の祈り 21-62番「天にいます 私たちの父」(©教団讚美歌改訂委員会)

献げ物 (*)

派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

祝福 武久盾牧師(住道一粒教会)

後奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©教団讚美歌委員会)

報告 (4頁をご参照ください)

《お隣と間隔をあけて、席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

* 「献げ物(献金)」は参加費ではございません。

受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 ^{ことば} ダニエル書 7章 27節 (聖書協会共同訳 ©日本聖書協会)

「王国と支配権、^a天の下の国々の権威は
いと高き方の聖なる民に与えられる。

その王国は永遠の王国であり

すべての支配者は彼らに仕え、服従する。」(脚注 a: 直訳「すべての天の下」)

消灯の詞 ^{しょうとう ことば} (参照: マタイによる福音書 21章 7-11節、27章 15-23節)

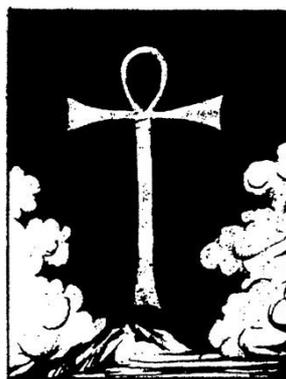
「^b ホサナ、ホサナ」と言ってイエス様を歓迎したのに、すぐその後に
「十字架につけよ」と叫んだエルサレムの人々のことを思いながら、4つ目の
ろうそくを消します。 (注 b: 「どうか私たちをお救いください」の意味)

聖書 マタイによる福音書 17章 1-9節 (聖書協会共同訳 ©日本聖書協会)

^{むいか のち}
¹六日の後、イエスは、ペトロ、それにヤコブとその兄弟ヨハネだけを連れて、
高い山に登られた。²すると、彼らの目の前でイエスの姿が変わり、顔は太陽のよ
うに輝き、衣は光のよう^{ころも}に白くなった。³見ると、モーセとエリヤが現れ、イエス
と語り合っていた。⁴ペトロが口を挟んでイエスに言った。「主よ、私たちがここに
いるのは、素晴らしいことです。お望みでしたら、ここに^{まくや}幕屋を三つ建てましょう。
一つはあなたのため、一つはモーセのため、もう一つはエリヤのために。」⁵ペトロ
がこう話しているうちに、光り輝く雲が彼らをおお^{おお}った。すると、雲の中から、
「これは私の愛する子、^{かな}私の心に適う者。これに聞け」と言う声がした。⁶弟子た
ちはこれを聞いてひれ伏し、非常に恐れた。⁷イエスは近寄り、彼らに手を触れて
言われた。「立ち上がりなさい。恐れることはない。」⁸彼らが目を上げて見ると、
イエスのほかには誰もいなかった。

⁹一同が山を下っているとき、イエスは、「人の子が死者の中から復活するまで、
今見たことを誰にも話してはならない」と弟子たちに命じられた。

(脚注 c: 直訳「私はこれを喜ぶ」)



《先週のメッセージより》3月7日 受難節第3主日礼拝 牛田匡牧師
メッセージ「決して魂を売ることなく」より

聖書：マタイによる福音書 16章13-28節

今回のお話はイエス様が自身の受難、死と復活を予告するという話でした。実際にはイエス様が未来を「予言」したというのではなく、自分の身に危険が迫っていることを感じておられたということなのではないかと思います。しかし、その一方で26節では「たとえ人が全世界を手に入れても、自分の命を損なうなら、何の得があろうか。人はどんな代価を払って、その命を買い戻すことができようか」と言われています。これは素直に読めば「自分の命が何よりも大切」という最もらしい言葉です。しかし、イエス様はそのように言いながらも、自分の命を守ることに固執されませんでした。「自分の命が何よりも大切」なのであれば、身の危険を感じた時点で、反対者たちから逃げて隠れたら良かったはずですが。にもかかわらず、イエス様は受難への道を進まれました。何故でしょうか。聖書の中には「命」を表す言葉が、いくつかありますが、ここで「命」と訳されている言葉は、むしろ「自分自身」という意味だと考えられます。他の言葉で言えば、自分の「本心」や「魂」と言った方が、分かりやすいかもしれません。例えば現代でも、どうしても引き受けられない、決して譲ることのできないものがある時に、「そんな魂を売ることにはできない」と言うのと同じだと思います。自分が一番大切にしているもの、命、魂、自分自身……。イエス様は自分の命にこだわったのではなく、自分自身に与えられた使命のために、その命を使われました。

さて、私たちは日々「命を大切にしたい」と漫然^{まんぜん}と思いながらも、本当に「魂」を売ることなく「自分自身」を大切にし、また周囲の人の魂、その人自身も大切にできているでしょうか。日本社会では、多くの人が自分の意志・本心よりも、むしろ「立場」に従って生きている。例えば、汚職や隠ぺいなどの不正行為が明らかになった際に、「本心ではなかったが、立場上、やむを得なかった」と言われるほどに「立場主義」が蔓延^{まんえん}しているとも言われています(安富^{あゆみ}歩)。私たちが何かを判断し、決断する時、その判断は、本当に命を守るもの、魂・自分自身を守るものなのか、それとも単に「立場」を守ろうとするものなのかを、よく見極める必要があります。「イエス様について行く」とは、決して魂を売ることなく、自分の命よりも大切なものがあることを信じ、またこの肉体の死を越えた復活があることを信じ、その歩みに倣^{なま}っていくことなのだと思います。コロナのことも、収束はまだまだ先でしょうし、原発事故・放射能のことは、解決の見通しすら立っていないのが現状でしょう。判断の難しいことが多くありますが、いつでもイエス様と共にあって、そのあとについて行けるようにと願っています。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook

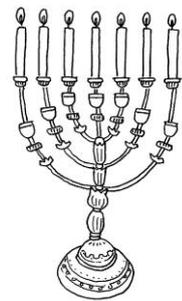


LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 (3月7日)

礼拝出席 大人5名 献金 大人6,000円 感謝



◎次週 2021年3月21日(日) 受難節 第5主日礼拝

招きの詞 詩編 118編 5-9節

聖書 マタイによる福音書 20章 20-28節

メッセージ 「私たちの望むものは」水谷憲牧師

賛美歌 305番 (©JASRAC)、566番 (©著作権消滅)、469番 (©JASRAC)

◎お知らせ

- ・本日は、河内地区有志教会講壇交換礼拝として、住道一粒教会(大東市)の武久盾牧師が、メッセージを下さいました。どうもありがとうございました。例年では愛餐会(昼食会)を行っていますが、今年は感染症予防のため、残念ながら愛餐会を行うことはできませんでした。
- ・先週、3月期の「教会を考える会(役員会)」を行いました。主な議案は、教勢報告、会計報告、今後の礼拝・行事予定、2021年度定期教会総会議案の確認などでした。2021年度の定期教会総会(役員選挙含む)は4月18日の予定です。
- ・教会では、新型コロナウイルス感染予防に留意しながら礼拝をいたしますが、それぞれの方の体調にご注意いただき、教会堂に共に集まって礼拝する形にこだわらずに、インターネットの中継配信を利用した在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝に参加ください。教会堂では、朝の検温、手指消毒とマスク着用、お隣の方との間隔をあけた着席をお願いいたします。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページからダウンロードして頂くことができます。またご希望の方にはご自宅までお届けいたします。
- ・3月20日(土・祝)14時~16時に大阪クリスチャンセンター(玉造)にて、精神障がいについての公開講演会「病気に対する考え~いわくら病院での解放医療を踏まえて~」(大阪教区伝道委員会「心なごむ会」主催)があります。講師はいわくら病院の元院長・崔秀賢医師です。参加費は無料、事前申し込みも不要ですが、当日新型コロナウイルス対策として、マスク着用、検温、名前と連絡先の記入などが必要です。どなたでもご参加ください。
- ・八尾教会より創立70周年記念誌「あしあと」を頂きました。どうぞご覧ください。

◎ 次週以降の行事予定

| | 会場 | メッセージ | 行事 |
|------|---------------------------------|-------|---------------------------|
| 3/21 | 久宝寺地区 久宝まぶねこども園 (新園舎・教会堂) | 水谷憲牧師 | |
| 3/28 | | 牛田匡牧師 | 誕生者祝福式・おにぎり支援 |
| 4/4 | | 牛田匡牧師 | イースター礼拝・ユウカリスト 教会を考える会 |
| 4/11 | | 水谷牧師? | |

大阪教区 心なごむ会公開講演会 2021

病気に対する考え
~いわくら病院での解放医療を踏まえて~

講師 崔秀賢 医師 さいしゅうけん

1943年東京生まれ。68年大阪大学医学部卒業後、大阪厚生病院内科科長、大阪大学医学部精神科科長を経て70年高専法入籍門会いわくら病院勤務。08年よりいわくら病院院長。2016年3月院長を退任。退任後も週3回外来診療を続けている。

心なごむ会では、毎年、精神障がいに対する理解を深めるために精神科医の先生を招いて集会を開いています。今回は京都いわくら病院の崔秀賢先生をお招きします。いわくら病院での働きについてはNHKで先週はじめて紹介されました。コロナ禍の中ですが、感染症対策をしっかりして開催したいと思っております。皆様のご参加をお待ちしています。

2021年
3月20日(土) 午後2時~4時
場所: 大阪クリスチャンセンター会議室
大阪市中央区玉造2-26-47 (電話: 06-6762-7701) **会費は無料**

新型コロナウイルス対策にご協力ください。
 ●マスク着用の事
 ●入場前・検温実施
 ●消毒剤を設置
 ●社会的距離と換気の実施
 ●名前と連絡先の記入

※新型コロナウイルス感染拡大の中心に、距離になる可能性のあることをご理解ください。

主催 大阪教区心なごむ会 (旧「心親む友と共に」委員会)
 問い合わせ先 世話人 井上洋品 (電話 090-2015-2687)
 世話人 申 美子 (電話 090-3829-7855)